

2011 年度事業計画

2011年3月11日、東日本大震災が起こりました。地震、津波で多くの方が亡くなられ、未だ行方不明者の方もたくさんおられます。心からご冥福をお祈りします。幸いにもJIAの仲間達は全員無事との報告を受けています。しかし福島第一原子力発電所の事故も発生、最も危険な状態が続き海外から日本へ来る外国人も極端に減少している状態です。大震災の影響は建築の世界にも重くのしかかっています。資材の不足にとどまらず多くのプロジェクトが延期や中止に追い込まれ、回復時期のイメージもできない厳しい状況がしばらく続くことになるのだと思います。9月にUIA東京大会を控え実施が危ぶまれますが、テーマに“災害”を加えて縮小規模で進む「On track」というUIAの方針が出されました。今後の状況によっては方針の変更も予想されますが、現時点ではUIA東京大会の実施へ向かい進む事になります。5月のJIA総会では、公益法人化へ向け定款改定の決議が行われる予定です。会費の値上げでJIAの運営は円滑になりますが会員の減少も避けられません。定款改定に伴う会員種別の中で、準会員制度が明確になります。会員事務所の所員や若手建築家、学生まで会員の幅を広げ今後のJIA活動を支える意味での会員増強を図る必要があります。建築を巡る、地方会員、賛助会員と一体となった全道でのセミナーや展覧会も積極的に進める予定です。重要な転換期であり厳しい状況ですが、この1年の活動に会員の皆様の強い協力を宜しくお願い致します。東北支部との連携で、災害復興に向けた北海道支部としての動きが始まります。是非「北からの支援」への参加を募りたいと思います。

1. 東日本大震災の災害復興を東北支部と連携して行う。

2. 設計業務環境改善

入札に替わるコンペやプロポーザルの推進と、ダンピング防止と設計報酬の適正化に向けて告示第15号を周知徹底する為の講習会・勉強会を他会と協力して推進します。

3. 建築家資格制度

JIA登録建築家制度のオープン化が始まりました。総括設計専門資格の法制化に向けての運動を推進します。

4. 建築基本法

「建築が文化・芸術であり公益的社会資産であること」と「建築の公益性を担保するためには設計者の独立性が必要なこと」を盛り込む運動を開始します。

5. UIA東京大会2011

“DESIGN 2050”をメインテーマ、“災害”をサブテーマとした大会への準備支援と協力を展開します。北海道支部とスペイン・カタルーニャ建築家協会との協同イベントの実施を計画します。

6. 建築家の職能の広報

北海道支部住宅部会作品発表会と作品賞、日本建築学会北海道支部作品発表会への協力、協賛設計コンペの開催を推進します。

7. 建築技術の研修と広報

建築技術デザイン委員会、環境部会等の主催CPDセミナーを開催します。

賛助会員CPD技術セミナー協賛、関連建築団体CPD各種セミナーを協賛します。

8. 教育関連及び顕彰等

北海道赤レンガ建築賞の共催、JIA北海道支部学生設計コンクール・工業高校生のための北のジュニアオープンデスク・JIAオープンデスク・インターンシップへ協力します。

9. JIA北海道支部の地区活動支援

セミナーのDVD化と地区発表会・展覧会・セミナー・講演会を支援します。

10. 建築紛争に対応できる法曹会との協力体制を確立します。